皆さんを交通事故から守る取り組み

交通事故死ゼロ日数600日突破
今なお、継続中

現在、埼玉県は交通事故死の発生件数が全国でワースト3位と深刻な事態になっています。11月1日には、埼玉県知事から「交通死亡事故多発非常事態宣言」が発令されました。県警では、各種交通違反の取締りや、パトカー、白バイ等による警戒活動を強化しています。

町では、皆さんの交通安全に対する高い意識と交通安全に携わる方々の日ごろの活動により、交通事故死ゼロ日数は600日を突破しています（平成30年11月20日時点）。また、事故の発生件数は昨年と比較するといずれも減少しています。

交通事故発生状況（嵐山町）
（平成30年1月1日から10月31日）

	平成30年	平成29年	増減
人身事故件数	41件	59件	−18件
死者数	0人	1人	−1人
傷者数	51人	70人	−19人
物件事故数	290件	302件	−12件
事故総件数	331件	361件	−30件

さまざまな活動が安心安全のまちづくりを支えています

町の取り組み

指導員による交通指導

町では11名の方に交通指導員を委嘱しています。交通量が多い交差点での交通誘導の他、イベント時の交通指導などの活動をしています。

交通安全対策協議会

年に一度、町の交通事故状況や通学路に関する要望に対して協議しています。会議では、要望に対する協議の他、町の交通安全に対する重点目標を定めます。

警察・交通安全協会の取り組み

交通安全教室

小川警察署では、年度初めに各小学校の全学年を対象とした交通安全教室を実施しています。小川警察署の職員の他、町の自転車安全利用指導員も参加して児童への交通指導を行います。

交通安全街頭キャンペーン

小川地方交通安全協会の主導のもと、年に4回ヤオコーバイパス店駐車場他において交通安全に関する交通安全街頭キャンペーンを実施しています。交通安全対策協議会関係団体他、小川警察署、警察福祉協会小川支部、嵐山ときがわライオンズクラブ、町内業者等多くの方々の協力を得ています。

他にも多くの方々が見守っています

交通安全母の会

嵐山町交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」をモットーに新入学児への啓発品の配布や高齢者宅を訪問しての啓発活動等を実施しています。また、嵐山まつりでは、リサイクルバザーと募金活動を実施し、交通遺児のための寄付金援助の活動も行っています。

PTA

登下校の時間帯に交通量が多い交差点などで、自主的に立哨活動をしています。また、年に一度、通学路の安全点検を行い、児童の安全の確保に取り組んでいます。

皆さんを犯罪から守る取り組み

町の取り組み

青色回転灯車によるパトロール

週に2回、各小中学校PTAと区長さんの協力のもと、青色回転灯車（通称「青パト」）による防犯パトロールを実施しています。

子どもたちの下校時の見守りの他、通学路や危険個所の点検も兼ねています。その他、盗難被害等警察から情報提供があった際は、その都度役場職員によるパトロールを実施しています。

警察と行う取り組み

ナイトパトロール

月に一度、パトロールセンター関係地域の区長さんと、菅谷小中学校PTA、小川警察署の生活安全課の協力のもと、防犯、非行防止を目的としたナイトパトロールを実施しています。

地域住民の方の取り組み

自主防犯パトロール

町内には38団体の自主防犯組織があり、それぞれの団体が地域の実態に即した防犯活動を実施しています。町では、活動に対する保険手続きの他、防犯ジャンパーや指示棒等の防犯資機材の補助を行っています。

悪質な振り込め詐欺にご注意

管内で実際に起こった事例を紹介します。ご注意ください。

詐欺の概要

小川町、嵐山町、ときがわ町地内で警察官や金融庁職員になりすまして電話をかけ、キャッシュカードを騙し取り、預金を引き出す手口の被害が発生しました。

金融庁職員をかたった者からの電話の内容は・・・

・口座から○○万円が引き出されています。
・口座はお金をおろすことができなくなります。うちの者がキャッシュカードをお預かりします。
というものです。

小川警察署からのお願い

警察官や金融庁職員になりすまし、キャッシュカードを騙し取ろうとする手口の詐欺の電話が多くかかってきています。

このような電話がかかってきたら、振り込め詐欺を疑い、すぐに警察に通報してください。

他にも次のような事例も発生しています

詐欺目的のハガキが送付されています。ご注意ください。

【送付元の例】
・法務省管轄支局国民訴訟通達センター
・国民訴訟お客様管理センター
・民事訴訟管理センター

【件名の例】
・総合消費料金未納分訴訟最終通告書

このようなハガキが届いても、ハガキ記載の連絡先には絶対に連絡しないでください。また、ハガキが届いた場合は、慌てず家族に確認するか、小川警察署にご相談ください。

〈担当者より〉

千種署長にはお忙しい中でしたが、快くインタビューを引き受けていただきました。終始穏やかな雰囲気でしたが、交通安全や防犯に対しての熱意や意気込みを感じました。姉御肌で署員を引っ張る頼もしい存在という印象を持ちました。

安心して暮らせる町にするには、地域の取り組みが重要となります。地域でどんな取り組みができるのか。皆さんもこの機会に考えてみてはいかがですか。

問合せ　地域支援課　人権・安全安心担当　☎62−2152